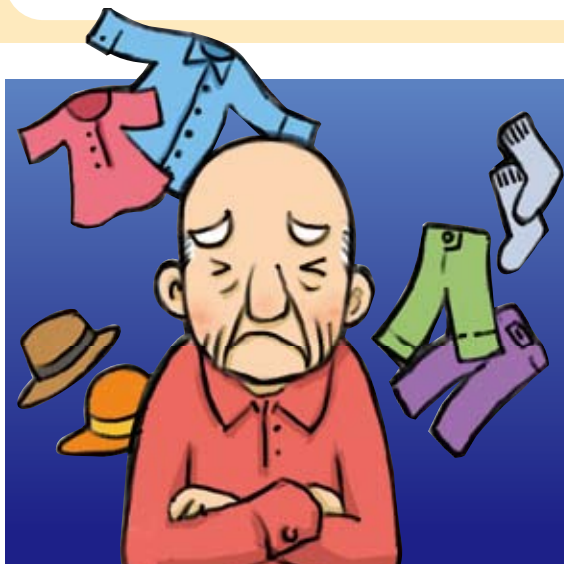


他人の物や、拾ってきた物を持って来ますが、どうしたらいいのでしょうか？

認知症にみられる収集行動は、他人の物と自分の物の判断がつかずトラブルになったり、収集した物を保管する方法によっては、衛生上の問題が発生するなど、生活上の問題となる症状です。

収集したものを保管して自分自身の不安などを緩和し、安心感を得るための行動です。これまで、はた目からみて「意味のない、使えないもの」でも本人にとっては「生活に必要なもの」「大事なもの」「自分のもの」です。無理やり取り上げたり、叱責すると、抵抗したり、興奮することもあります。本人の誇り、尊厳を尊重し、決して人前で恥をかかせないようにしましょう。ご近所の人やお店の人にも事情を説明し、協力と理解をお願いしておくことはいい方法です。



以前と比べてチェックリストのような変化が続くときは、すぐに最寄りの地域包括支援センター（地域によって名前が違うことがあります）や適切な医療機関に相談してみましょう。

もしかしたら認知症の初期かもしれません。でも心配はいりません。早く診断できれば、あなた自身や

ご家族が認知症についてきちんと理解する時間をもて、十分に対応できます。原因によっては治療法があります。

チェックリスト

- 同じことを何度も言うとか聞くと周りから言われることが多い
- いつも捜し物をしていることが多い
- 財布や通帳など大切なものがなくなる
- 約束を忘れたり、待ち合わせの場所に行き着けなかった
- 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- テレビのドラマは筋を追うのが面倒くさい
- 身だしなみを整えることが億劫になり、構わなくなった
- 趣味や好きなことに関心がなくなった
- 何をするのも億劫になった